

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 26 年 3 月 8 日		
所属学部・研究科	教育学部	2年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ネバダ大学リノ校 IELC (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	IELC (Intensive English Language Center)			
在籍身分	IELC 生徒			
留学期間	平成 25 年 8 月 22 日 ~ 平成 25 年 12 月 13 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: F-1			
	ビザ申請先: 大阪領事館			
	取得方法, 提出書類: インターネットで予約後、大阪領事館での面接。 ビザは後日郵送。			
	手続きに要した日数: 2 週間			
その他必要な事前手続き	SEVIS FEE の支払い、大学での英文の成績証明証の受け取り			
出国年月日	平成 24 年 8 月 16 日			
経路	岡山~仁川 (韓国) ~サンフランシスコ~リノ (バス)			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	セメスターが始まる前の週に2日間のオリエンテーションとクラス分けのテストも行われる。			
帰国年月日	平成 25 年 2 月 7 日			
経路	リノ (バス) ~サンフランシスコ~仁川 (韓国) ~岡山			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	約 83 万	円	
	内訳	渡航費	約 16 万	円
		保険料	約 7 万	円
		教科書代(学費)	約 2 万	円
		宿舍費	約 24 万	円
		食費	約 18 万	円
		その他 (旅行 費) (予防接種 費) (費)	約 15 万 約 1 万	円 円
3. 授業について				
2013 年 秋学期	8 月 22 日 ~	12 月 13 日		

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	リスニング、リスニング、スピーキング、ライティングの4つの技能を伸ばすための授業が行われる。1番上のクラスでは大学の授業に参加できる。1つのクラスの人数は約10人前後。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	宿題に何が出されたのか、特に授業を受け始めたはじめのうちは分からないことがあると思うので、しっかり確認するようにしてほしいと思う。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (インターナショナルハウス)
住居の広さ	約 10 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (6人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり \$410(現地通貨) 約 約4万円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	IELCからは寮と大学周辺のアパートをいくつか紹介されるが、それ以外にもクリスチャンのグループが経営するインターナショナルハウスがある。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 15万円 補償額 死亡 1000万円, 入院1日 1万円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	大学内のヘルスセンターで予防接種を受けます。大学内の保険加入により無料。
日常的な健康について不安が	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	特に体調が悪くなることがなかったのでよく分かりませんが、体調が悪くなったときにはヘルスセンターに行けば薬が処方されます。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	生活リズムには気を付けていました。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
ダウタウン郊外、ミッドタウン周辺は危険ということを知ったことはありますが、実際時自分が危険と感じた場所はありません。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
留学生の生活をサポートしてくれるクリスチャンのグループがあります。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 26年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 年 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等		
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	自分の所属する過程によっては留学すると複数の教員免許が取れなくなる可能性があります。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
IELC のミッションポリシーはネバダ大学をはじめとした、アメリカの大学への入学です。そのため、大学で学習するのに必要な英語力とレポート等の書き方を学びます。留学先で自分の専攻する内容をしっかり学びたい場合は、他の選択肢も考慮してみるといいと思います。		

学習の概要に関するレポート

ネバダ大学 IELC での学習について、IELC とは何か、IELC の授業について、私自身の感想についての3つに分けて1つずつ書いていきます。

まず、IELC とは何かについてです。IELC の生徒は厳密にはネバダ大学の学生ではありません。ネバダ大学に付属の IELC という組織の語学学校の生徒です。卒業後にネバダ大学に通う、もしくは近くのコミュニティカレッジ（専門学校）に通うことを目的としています。厳密な IELC Mission Statement を載せます。

The mission of the Intensive English Language Center is to provide quality English-language instruction and cultural orientation to international students and other non-native speakers of English in order to prepare them to become successful members of the academic and social community of the University of Nevada, Reno, and of the United States.

この目的 (to become successful members of the academic community) のために IELC 生は大学内のほぼ全ての施設の利用とイベントへの参加ができます。私自身は IELC に留学する前はこの存在自体知りませんでした。ただ、IELC に留学を希望する上でこの目的を理解しておいたほうがいいと思います。

次に IELC の授業についてです。留学開始時のオリエンテーションと同時にクラス分けのテストが行われ、その結果に応じて4つのレベルに分けられます。一番上のクラスだけネバダ大学自体の授業（アカデミッククラス）を受ける推薦がもらえますが、残念ながら初めのセメスターからいきなりその推薦をもらうことはできません。また、クラスはレベルにかかわらず、Reading/Writing、Listening/Speaking、Integrated Skill という3つのクラスを受講することになります。授業は朝の8時から始まり、大体12時ごろにはすべて終了します。IELC の Mission である to provide cultural orientation のために、金曜日は授業後に IELC のイベントがあることが多いです。もちろんすべての授業は英語で行われるので初めの1か月ほどは苦労しました。また、12月からの冬休みの間にも Winter Semester があり、そこで IELC で開催される授業を取ることも可能です。無料で履修することができたので、興味がある場合は1月の冬休みの予定を空けておくことをお勧めします。少人数の授業になると思うのでいい勉強になると思います。

最後に、私自身の感想です。結論から言うと、個人的には、広島大学からの交換留学生としては IELC にいくことをあまりお勧めしたくはありません。理由を2つ述べます。まず第一に IELC はネバダ大学に留学するために勉強する場所だからです。つまり、大学に入学するために必要な英語力やレポートの書き方、ノートの取り方等を学ぶ場所ということです。こういった勉強は日本でもできるので、これらの能力を身に付けて留学に臨んだほうがより多くのものを得られるように感じました。さらに、2セメスター留学する場合は人によっては同じような内容を2度履修することになるかもしれません。第二に自分の取りたい授業を履修することができないからです。特に1セメスターの留学の場合はクラス分けのテストでどんなにいい成績を残したとしてもアカデミックの授業の履修を許可されることはありません。また、2セメスターの留学で後期にアカデミックの授業の履修ができたとしても1クラスだけです。1セメスターの留学だと大学の授業が履修できない、2セメスターの留学だと類似した内容を学習する可能性があるということを IELC を希望する前に知っておくといいでしょう。

以上、3点について書かせていただきました。最後の私自身の感想では IELC に対して批判的な立場をとっていますが、私個人としては IELC で学んでよかったと考えています。これから留学を考えている皆さんには IELC の目的と自分の留学の目的を照らし合わせて留学先を決めてほしいです。その結果が IELC ならば、きっと IELC ですばらしい経験を積めると思います。

ネバダ大学リノ校での生活について

ネバダ大学での生活をまとめていくうえで、「衣食住」の3つに分けて1つずつ書いていきます。

まず、「衣」ですが、気候について3点書きます。第一に、ネバダはとても乾燥しています。雨が降ることも一ヶ月に1回くらいで、日本から雨合羽を持っていったのですが使うことは1度もありませんでした。ただ、夏場でも唇が割れるなど日本とは比べ物にならないほど乾燥しているので、体質によってはリップクリームやハンドクリーム等が必要になると思います。もしアメリカで購入したそれらのものを使用することに抵抗があるのなら、日本から持っていくことをお勧めします。第二に、夏場の日差しが強いです。サングラスをおしゃれのためではなく目を守るために使っている人がたくさんいます。サングラスはアメリカでも買えますが、もし度が入ったものが必要なら日本で買うほうがいいかもしれません。特にリノは標高が高いためか日差しが強いように感じました。第三に、寒暖の差が広島よりも激しいです。ストームなどが来ると一日の最高気温が氷点下ということはよくあります。また、夏場には40度を超えるような日もあるようです。ちなみにそんな暑い日も夜には比較的快適な気温にまで下がります。ただ、とても乾燥しているためか暑さについては個人的にはそれほどつらいと思うことはありませんでした。もちろん防寒具もアメリカで買えます。

次に「食」についてです。費用、買い物の観点から書いていきます。費用は人によると思います。大学内には広大なような生協の食堂はなく、たくさんの外食店が展開しています。どれも日本円で500~700円ほどで食事ができます。生協食堂と比べたら高く栄養バランスもよくありません。また、個人差はありますが味が濃いので飽きるという話もよく聞きました。また、後述する寮生活を選択すると、寮によっては台所がなく自炊できない可能性もあります。寮生はDCという、寮に付属のバイキング形式のレストランで食事をとることが多くなると思います。こちらも飽きやすいという話をよく聞きました。ちなみに大学の周りにもいくつかのレストランがありますが、歩いて10分以上かかるのでちょっと遠いです。買い物は車がないと不便です。近くには薬局店や小さなコンビニのようなものしかないので、車を持っている方に手伝ってもらわなければ満足に買い物にもいけないと考えられます。私は使用したことはありませんが、大学でも無料の買い出し用のバスが毎週末に出ているようです。さらに、クリスチャンのグループで留学生の支援を行ってくださっている方が買い物に行きたいかを聞いてくれます。

最後に「住」についてです。純粹に住むところ、イベントの2点に分けて書いていきます。まず住むところですが、寮かアパートが主な選択肢になると思います。日本では寮は安く便利という発想がありますが、アメリカではそうではないようです。寮では自炊ができなかったり、DCの利用券を買わないといけなかったりと制限がつくことがあります。その代わりネイティブの友達ができやすいかもしれません。アパートもたくさんありますが、ここではInternational Houseの紹介をさせていただきます。クリスチャンのグループが留学生用に用意して下さった家で、それほど高くなく住むことができます。私の場合は大体月に400ドル前後でした。また、寮にしるアパートにしる、ルームシェアもしくはハウスシェアは当たり前です。これまで育ってきた文化が違いすぎるので同居人との間に何かしらの不満が出てくるとは思いますが、それも含めていい経験ができるといいですね。イベントですが、大学自体のイベント、リノのイベント、前述したクリスチャンのグループのイベントとたくさんのイベントがあります。1つだけ例を挙げると、毎週日曜日に留学生のためにSunday Dinnerというご飯会を開催して下さっている方がいます。

以上、衣食住について書きましたがこれには書ききれないことがたくさんあります。(携帯電話、銀行口座など)大学に在学している間はできるだけ相談等も受け付けたいと思うので、もっと詳しく知りたい方は国際交流グループの職員の方に私の連絡先を聞いてください。